

I 基本理念など

基本理念

全ての子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力を備え、健やかに成長し、自立した個人として自己を確立することをめざします。

あわせて、グローバル化が進展した世界において、多様な人々と協働しながら持続可能な社会を創造し、その担い手となることをめざします。

子どもたちの最善の利益のために、教育環境を安全で安心な場とし、学力や体力の向上に効果を上げることは、本市の教育行政及び学校運営にとって、普遍的な目標であるとともに、継続的な課題でもあります。

そして、これらの目標達成に向けた改善の取組や成果について、市民や保護者のみなさまに対して説明し理解を求めることは欠くことのできないものです。次に示す3つの最重要目標のための取組を相互に連携させ、推進することにより、基本理念の実現をめざします。

最重要目標

- 安全・安心な教育の推進
- 未来を切り拓く学力・体力の向上
- 学びを支える教育環境の充実

計画の位置付け

この計画は、教育基本法に基づき、社会の情勢やこれまでの本市教育の取組の成果と課題等も踏まえ、令和12(2030)年以降の社会を見据えた新たな計画として策定します。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき市長が定めるものとされている、「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」として位置付けます。

計画の範囲

就学前教育、小学校及び中学校における義務教育と生涯学習に関する教育施策

他の計画等との理念の共有

「生涯学習大阪計画」や「大阪市子ども読書活動推進計画」など他の計画等と理念を共有

計画の期間

令和4(2022)～令和7(2025)年度の4年間

II 施策推進における9つの基本的な方向

3つの「最重要目標」の達成に向け、重点的に取り組むべき施策を推進するため、次の9つの基本的な方向に沿った施策を展開します。

最重要目標	基本的な方向	主な施策	◎ ⇒特に重点的に取り組むもの	○ ⇒重点的に取り組むもの						
1 安全・安心な教育の推進	1 安全・安心な教育環境の実現	◎ いじめへの対応 ◎ 不登校への対応 ○ 問題行動への対応 ○ 児童虐待等への対応 ○ 防災・減災教育の推進 ○ 安全教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「大阪市いじめ対策基本方針」に基づく対処、「学校安心ルール」の徹底また、ICTやスクリーニングシートの有効活用、いじめ第三者委員会の活用など新たな取組を総合的かつ効果的に推進します。 さらなる家庭との連携、教育支援センターの設置や不登校特例校の設置検討、ICTの活用等の充実を図り、児童生徒一人一人に寄り添った不登校要因への対応、不登校児童生徒の学習機会の確保に向けた取組を実施します。 	<table border="1"> <tr> <th>目標</th> <td>「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合</td> </tr> <tr> <th>令和7(2025)年度</th> <td>全国平均以上</td> </tr> </table>	目標	「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合	令和7(2025)年度	全国平均以上		
	目標	「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合								
令和7(2025)年度	全国平均以上									
2 安全・安心な教育の推進	2 豊かな心の育成	○ 道徳教育の推進 ○ キャリア教育の充実 ○ 人権を尊重する教育の推進 ○ インクルーシブ教育の推進 ○ 多文化共生教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が将来の夢や希望をもてるような道徳教育・キャリア教育の充実を図ることで、自己肯定感・自己有用感の改善に取り組んでいきます。 子どもたちの基本的な道徳心・社会性の育成を図るため、学校教育活動全体を通じた道徳教育活動を進め、これまで実施してきた「人に親切にする」「嘘をつかない」「ルールを守る」「勉強する」といった基本的なモラルを身に付けさせる取組を引き続き進めていきます。 	<table border="1"> <tr> <th>目標</th> <td>「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「自分には良いところがありますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合</td> </tr> <tr> <th>令和7(2025)年度</th> <td>全国平均以上</td> </tr> </table>	目標	「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「自分には良いところがありますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合	令和7(2025)年度	全国平均以上		
	目標	「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「自分には良いところがありますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合								
令和7(2025)年度	全国平均以上									
2 未来を切り拓く学力・体力の向上	3 幼児教育の推進と質の向上	○ 就学前教育カリキュラム等に基づいた教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き「就学前教育カリキュラム」等に基づいた教育の推進を通して、幼児教育の推進と質の向上を図るとともに、小学校以降の教育において未来を切り拓く学力や体力を身に付ける基礎を培えるよう取り組みます。 	<table border="1"> <tr> <th>目標</th> <td>「就学前教育カリキュラムを活用して実践する意識が高まってきた」に対して、最も肯定的な回答を選択する市立幼稚園・保育所の教職員の割合</td> <td>「今後の教育・保育に活用できる」に対して、最も肯定的な回答を選択する参加者の割合</td> </tr> <tr> <th>令和7(2025)年度</th> <td>53% (現状50.6%)</td> <td>80% (現状77.0%)</td> </tr> </table>	目標	「就学前教育カリキュラムを活用して実践する意識が高まってきた」に対して、最も肯定的な回答を選択する市立幼稚園・保育所の教職員の割合	「今後の教育・保育に活用できる」に対して、最も肯定的な回答を選択する参加者の割合	令和7(2025)年度	53% (現状50.6%)	80% (現状77.0%)
	目標	「就学前教育カリキュラムを活用して実践する意識が高まってきた」に対して、最も肯定的な回答を選択する市立幼稚園・保育所の教職員の割合	「今後の教育・保育に活用できる」に対して、最も肯定的な回答を選択する参加者の割合							
令和7(2025)年度	53% (現状50.6%)	80% (現状77.0%)								
2 未来を切り拓く学力・体力の向上	4 誰一人取り残さない学力の向上	◎ 言語活動・理数教育の充実(思考力・判断力・表現力等の育成) ◎ 「主体的・対話的で深い学び」の推進(各学校の実態に応じた個別支援の充実) ◎ 英語教育の強化 ○ 全市共通テスト等の実施と分析・活用	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの世界を広げ、思考を深めるため、文理融合的な内容を含む「総合的読解力育成カリキュラム」(仮称)を開発し、全ての小学校(3年生以上)・中学校で毎週1時限以上授業として総合的読解力育成の時間(「小中学生からのリベラルアーツ教育(仮称)」)を実施します。 各学校の実態に応じた「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現を支援します。 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の英語4技能の総合的な育成に取り組みます。 	<table border="1"> <tr> <th>目標</th> <td>全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比</td> <td>CEFR A1レベル(英検3級)相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)</td> </tr> <tr> <th>令和7(2025)年度</th> <td>全国平均以上</td> <td>50%(国の目標値)</td> </tr> </table>	目標	全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比	CEFR A1レベル(英検3級)相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)	令和7(2025)年度	全国平均以上	50%(国の目標値)
	目標	全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比	CEFR A1レベル(英検3級)相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)							
令和7(2025)年度	全国平均以上	50%(国の目標値)								
2 未来を切り拓く学力・体力の向上	5 健やかな体の育成	◎ 体力・運動能力向上のための取組の推進 ○ 健康教育・食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒一人ひとりの状況を把握しながら学校園における体力向上に向けた取組を進めます。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた新しい生活様式への対応を推進していきます。また、児童生徒の規則正しい生活習慣が身に付くよう、近年、社会的な問題となっているスマートフォン依存・ゲーム障害などへの対応を進めるとともに、健康に関する指導や食育など、子どもの発達段階に応じた指導を実施します。 	<table border="1"> <tr> <th>目標</th> <td>全国体力、運動能力・運動習慣等調査における体力合計点の対全国比</td> </tr> <tr> <th>令和7(2025)年度</th> <td>全国平均以上</td> </tr> </table>	目標	全国体力、運動能力・運動習慣等調査における体力合計点の対全国比	令和7(2025)年度	全国平均以上		
	目標	全国体力、運動能力・運動習慣等調査における体力合計点の対全国比								
令和7(2025)年度	全国平均以上									

6 教育DX
(デジタルトランスフォーメーション)の推進

◎ ICTを活用した教育の推進
◎ データ等の根拠に基づく施策の推進(教育ビッグデータの活用等)

- ・1人1台端末の環境を生かし、デジタルドリルや協働学習支援ツールを活用することで、子どもの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現に向け取り組みます。
- ・児童生徒の心の状態や日々の生活の状況を可視化し、子どもの理解を深めるとともに、いじめ・不登校などの未然防止・早期発見・迅速な対応を実現します。

目標	授業日において学習者用端末を毎日使用した学校の割合	
令和7(2025)年度	100%	

7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

◎ 働き方改革の推進
◎ 教員の資質向上・人材の確保

- 大学連携の推進
- 教育ブロックでの教育の推進
- カリキュラム・マネジメントの推進(校園長によるマネジメントの強化)
- 学校配置の適正化

- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、引き続き、各取組の効果検証を進めるとともに、「仕事と生活の両立支援プラン」等も踏まえ、性別に関係なく教員が働きやすい環境を整備します。
- ・多様な人材の確保を図るとともに、新・大阪市総合教育センター(仮称)を設置し総合的にシンクタンク機能の強化します。
- ・多種多様な大学との連携も図り、教職員の資質向上に取り組みます

目標	教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合	教員の管理職選考受験者に占める女性職員の割合
令和7(2025)年度	「学校園における働き方改革推進プラン」における目標の達成	30% (令和元年度24.1%)

8 生涯学習の支援

- 「生涯学習大阪計画」に基づいた取組
- 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組
- 学校図書館の活性化

- ・大阪市では、教育基本法による生涯学習の理念の実現に向け、生涯学習をめぐる現状と課題を踏まえ、大阪市におけるこれからの生涯学習推進に向けての視点、総合的に講ずべき施策の方向性とその内容を明らかにすることを目的として、「生涯学習大阪計画」を策定しています。その計画に基づき、子どもの学び、家庭教育を含めた市民の学びの支援に取り組みます。
- ・また、子どもの読書活動を推進するため、「大阪市子ども読書活動推進計画」を策定しています。計画に基づき、すべての子どもが生き生きと読書を楽しめるよう、家庭、地域、学校が連携して取り組みます。

目標	現在、またはこの1年間のうちに、一定期間継続した生涯学習活動を行ったことがある市民の割合
令和7(2025)年度	38% (令和2年度30.6%)

9 家庭・地域等との連携・協働した教育の推進

- 教育コミュニティづくりの推進
- 地域学校協働活動の推進

- ・これまでの取組を生かしつつ、学校や地域を拠点とした学習機会の充実、登下校時の見守り活動、読書活動支援、地域の交流行事など、地域による学校支援の取組や、学校・地域・家庭の連携による様々な取組などの一層の推進を図っていきます。
- ・これまで以上に、保護者や地域住民が学校の諸活動により積極的に参加できるように取り組むことで、地域学校協働活動等を進め、「教育コミュニティづくり」の一層の推進を図っていきます。

目標	「地域学校協働本部などの仕組みを活かして保護者や地域の人との協働による活動を行った」と答えた小学校・中学校の割合	
令和7(2025)年度	小学校 92% (現状73.2%)	中学校 86% (現状63.4%)

Ⅲ 計画の進め方と進捗管理

- ・成果と課題の見える化
年度単位で実施する「教育行政点検・評価」や「局運営方針」の指標をこの計画と連動させることで、効率的にこの計画の進捗を管理します。また、これまで以上にデータ分析等の活用も図り、「成果と課題の見える化」を推進していきます。
- ・分権型教育行政(教育ブロックでの教育の推進)
市長のリーダーシップのもと、教育委員会、関係局及び区がしっかりと連携し、保護者や地域と力を合わせ、社会総がかりで教育を行っていきます。さらに、よりきめ細かくかつ的確に学校を支援するため、本市を4つの教育ブロックに分け、それぞれに担当指導主事等を配置し、学力・体力の向上や安全・安心な学校づくりに向け、各学校の実情に応じたきめ細かな支援策を推進していきます。